



研究用試薬

ヒストファイン

第一抗体

抗 α -フェトプロテインウサギモノクローナル抗体(AT用)
(動物種：ウサギ)

包装： 50 テスト (6.5mL)

Code： AT1829-1

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地 6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

■本品は、自動染色装置ヒストステイナーAT用の試薬 第一抗体である。

■**特異性および抗原分布**：ヒト α -フェトプロテイン(AFP)と特異的に反応する。AFPはヒト胎児期の肝臓および卵黄嚢で生成される糖タンパク質である。(4)成人の正常血清および正常肝臓組織では検出されない。(4)(7)腫瘍では、肝細胞癌(5)(7)、肝臓腺癌(6)(8)、卵黄嚢腫瘍(Yolk Sac腫瘍)(1)(2)(3)、胎芽性癌(1)(3)、セルトリ・ライディッシュ細胞腫(9)などの腫瘍において免疫染色による反応がみられる。肝細胞癌(5)(7)・肝臓腺癌(6)(8)・卵黄嚢腫瘍(1)(2)(3)の区別に有用である。■**クローン名**：EP209■**抗体のサブクラス**：ウサギIgG■**免疫原**：ヒトAFP全長リコンビナントタンパク質■**製法**：培養上清より得ている。**1. 内容**第一抗体・・・抗 α -フェトプロテインウサギモノクローナル抗体(動物種：ウサギ)。

液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と 0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1バイアル中に 6.5mL を含む。

2. 使用目的組織・細胞中の α -フェトプロテインの染色。**3. 使用方法**

パラフィン包埋切片の免疫組織化学染色および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

1) 他の試薬とともに試薬ラック(AT用)にセットし、染色を開始する。

2) 染色終了後、すみやかに2-8℃に保存する。

4. 染色方法の設定

試薬の反応温度、反応時間を下記に設定する。

《タイプ：HRP Heat》

プロトコル名	Dewax	TR	温度(℃)	ブロッキング	試薬名	第一抗体 反応時間(分)	第一抗体 反応温度(℃)
AFP-AT	Dewax2-AT	TRpH9-AT	101	Buffer	AFP-AT	20	25

5. 貯法および使用上の注意

1. 2-8℃保存。

2. 使用期限はラベルに記載されているので使用前に確認すること。

3. 使用後は速やかに冷蔵保存すること。

4. 異なるロットの試薬や他製品の試薬を混ぜたりしないこと。

6. 取扱上(危険防止)の注意

1. 使用期限の過ぎた試薬は使用しないこと。
2. 本製品に関する安全情報は安全データシートを参照すること。
3. 本品を吸い込んだり、眼、口、皮膚、衣類などへの接触を避けること。
4. 本製品の廃棄の際には、各施設や地域および国のルールに従い、適切に廃棄すること。
5. 本品は、動物由来成分を含むので、取扱に注意が必要である。
6. 本品にはアジ化ナトリウムが含まれている。アジ化ナトリウムは水道管に含まれる銅、鉛との反応によって爆発の危険性があるので、多量の水とともに洗い流すこと。
7. ヒト由来の検体は、感染の恐れがあるので適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

7. 参考文献

- (1) Furumoto, Path. Res. Pract. 173:12-21. 1981
- (2) D. Herms, et al. Virchows Arch 409:233-239. 1986
- (3) Gloria A. Niehans, et al CANCER September 15:1113-1123.1988
- (4) N. L. Lazarevich, BIOCHEMISTRY (Moscow) 65:117-133. 2000
- (5) Sean K. Lau, et al. Human Pathol. 33(12):1175-1181. 2002
- (6) Luigi M. Terracciano, et al. Am J Surg Pathol. 27(10):1302-1312. 2003
- (7) Yasmin Anum Mohd Yusof, et al. Anal. quant. cytol. histol . 25(6):332-338. 2003
- (8) Jiann-Sheng Su, et al. World J. 21:19(3): 321-327. 2013
- (9) Casandra A. Liggins, et al. Gynecologic Oncology Reports 15: 16-19. 2016

■ 研究用としてのみ使用すること。